

教 科		商 業		科 目	課題研究	単位数	3	
学 年		3 年		類 型	地域ビジネス科			
教科書（出版社）		課題研究の手引き（松山商業高校）						
副教材（出版社）								
授 業 の 概 要		財務諸表に関する基礎的な知識と技術の習得に重点を置く。また、利害関係者に会計情報を提供する能力と態度及び、提供された会計情報を活用する能力と態度を育成する。						
授 業 の 目 標		1 財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。 2 財務会計の意義や制度について理解する。 3 会計情報を提供し、活用する能力と態度を身に付ける。						
年 間 学 習 計 画		学習内容（単元・項目）			学 習 目 標			
	1 学 期	第1編 企業会計の基礎 第2編 資産 第3編 負債 第4編 損益計算 第5編 財務諸表の作成			・資産、負債、純資産の種類と会計処理及び財務諸表の作成をとおして、企業の財政状態を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。 ・損益計算の意味と損益の区分、収益・費用の認識と測定及び損益計算書の作成をとおして、企業の経営成績を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。			
		2 学 期	第6編 財務諸表の活用 発展学習			・財務諸表分析の意義及び財務諸表の見方について学び、財務諸表を活用するための基礎的な知識と技術を習得する。 ・連結財務諸表の目的と連結の範囲及び連結財務諸表の基礎について学び、連結財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。		
			3 学 期	発展学習			・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。 ・企業の経営者や社会人としての倫理観等を身に付ける。	
		観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現	
財務会計に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。			会計に関する法規や基準の変更に対応し、適切な財務諸表を作成したり、利害関係者にとって有用性の高い分析をしたりするなど、主体的な判断を基に正確な作業ができる。		会計情報を利害関係者に提供する能力と態度及び提供された会計情報については、ビジネスの諸活動に適切に活用する能力と態度を身に付けている。		財務会計に関する基礎的・基本的な知識と帳簿作成技術、各種の数値を算出する方法を身に付けるとともに、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解している。	
備 考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。							